

# 2015年度第3四半期 決算説明会

2016年1月27日

株式会社アドバンテスト

## ご注意

- ◆当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆将来の見通しに関する記述について  
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

**ADVANTEST.**

# 2015年度第3四半期 決算報告

取締役 兼 常務執行役員 中村 弘志

# 業績概要

(億円)

	2014年度				2015年度						
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	実績	3Q		前年同期比	
								増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	492	382	387	502	440	271	398	+127	47.0%	+12	3.0%
売上高	368	421	410	434	403	464	299	-164	-35.4%	-110	-26.8%
売上総利益	203	229	234	238	226	244	180	-63	-26.0%	-53	-22.8%
営業利益	24	40	34	48	27	40	-5	-46	-	-40	-
税引前純利益	32	48	53	56	28	35	2	-33	-95.4%	-51	-97.0%
当期純利益	13	33	46	37	19	25	-8	-33	-	-55	-
受注残	444	404	381	450	487	294	392	+98	33.4%	+11	2.9%

**ADVANTEST.**

2016/1/27

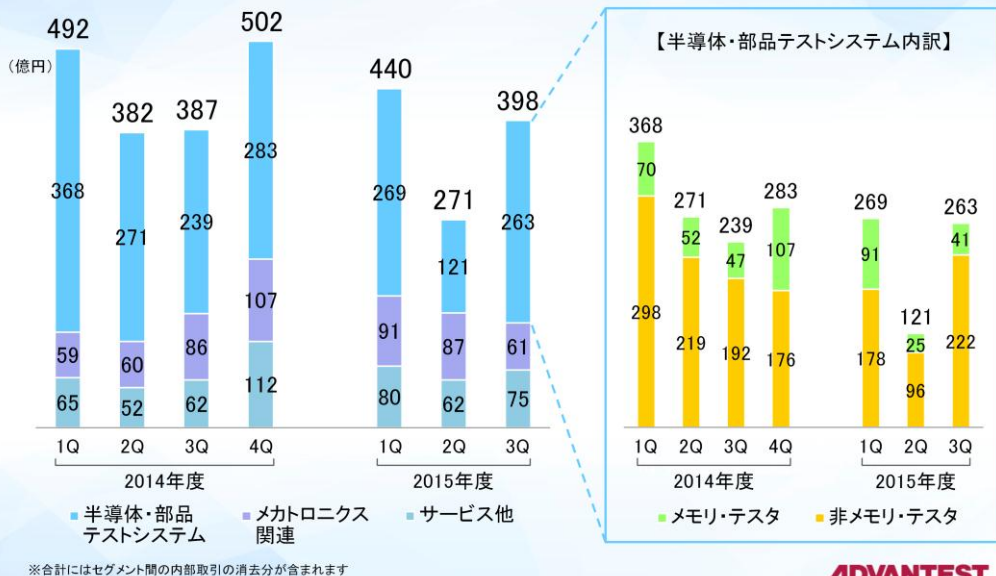
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

## ○ 2015年度第3四半期の業績概要

- |        |       |     |        |
|--------|-------|-----|--------|
| 受注高    | 398億円 | 前期比 | 47.0%増 |
| 売上高    | 299億円 | 前期比 | 35.4%減 |
| 営業利益   | -5億円  | 前期比 | 46億円減少 |
| 税引前純利益 | 2億円   | 前期比 | 33億円減少 |
| 当期純利益  | -8億円  | 前期比 | 33億円減少 |
- 非メモリ半導体向けを中心にテスト投資が伸び、受注高は前期比大きく増加
  - 売上高は2Qの受注水準が低かったことを反映し、299億円に留まる
  - 営業利益は売上高の減少を受け赤字となったが、売上高総利益率改善や営業費用の減少により赤字は小幅に留めることができた
- |     |       |     |        |            |
|-----|-------|-----|--------|------------|
| 受注残 | 392億円 | 前期比 | 98億円増加 | 今後の売上回復の基盤 |
|-----|-------|-----|--------|------------|

## 受注高 事業セグメント別



ADVANTEST.

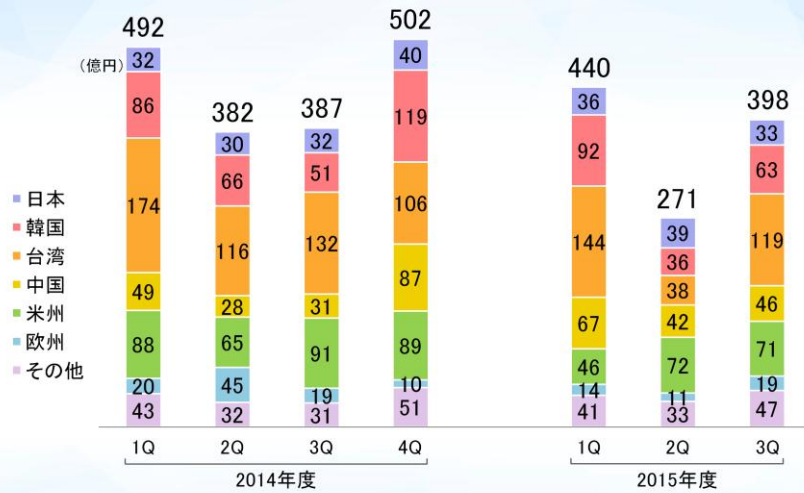
2016/1/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

- 2015年度第3四半期の事業セグメント別受注高
- 半導体・部品テストシステム事業
  - ・ 前期比 117%増 263億円
    - うち非メモリ・テスト 222億円
    - メモリ・テスト 41億円
  - ・ 非メモリ・テストがスマートフォン向け、中国4G基地局向けの需要を取り込み、前期および前年同期実績を大きく超過
  - ・ メモリ・テストも前期から回復
    - ただ、スマートフォンの販売に盛り上がりを欠いたことや、顧客のライン立ち上げ時期の兼ね合いから期待以下の水準に留まる
- メカトロニクス関連事業
  - ・ 前期比 30%減 61億円
  - ・ メモリ・テスト市場の伸び悩みを受け、デバイス・インタフェース事業も受注減少
  - ・ 商談の進捗状況から、ナノテクノロジー事業も上期ほどの数字を残せなかった
- サービス他事業
  - ・ 前期比 19%増 75億円
  - ・ 保守契約受注の増加など

## 受注高 地域(出荷先)別



**ADVANTEST.**

2016/1/27

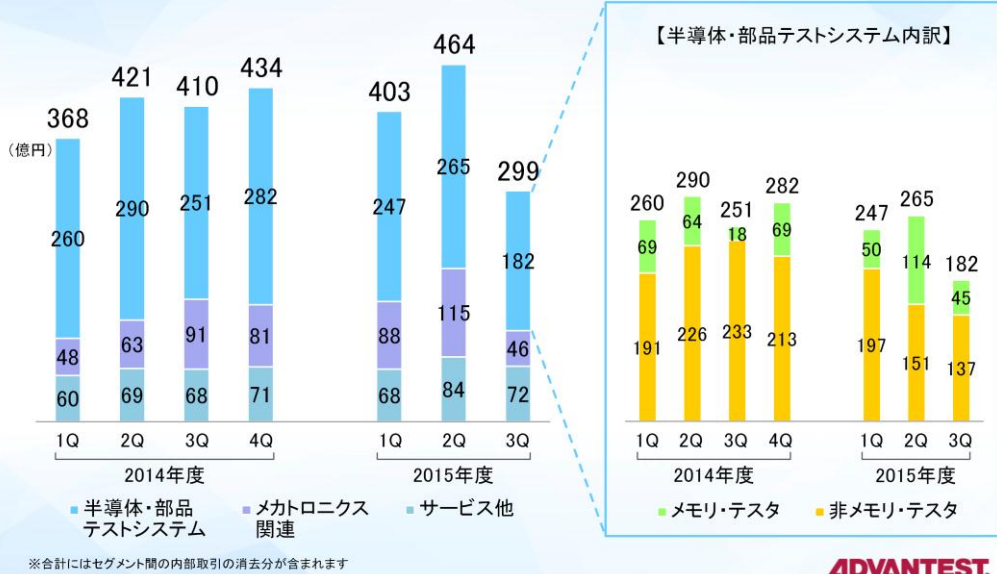
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

### ○ 2015年度第3四半期の地域別受注高

- 台湾  
アプリケーション・プロセッサ向けなど、  
非メモリ・テストの受注が回復
- 韓国  
DRAM向けの受注増

# 売上高 事業セグメント別



**ADVANTEST.**

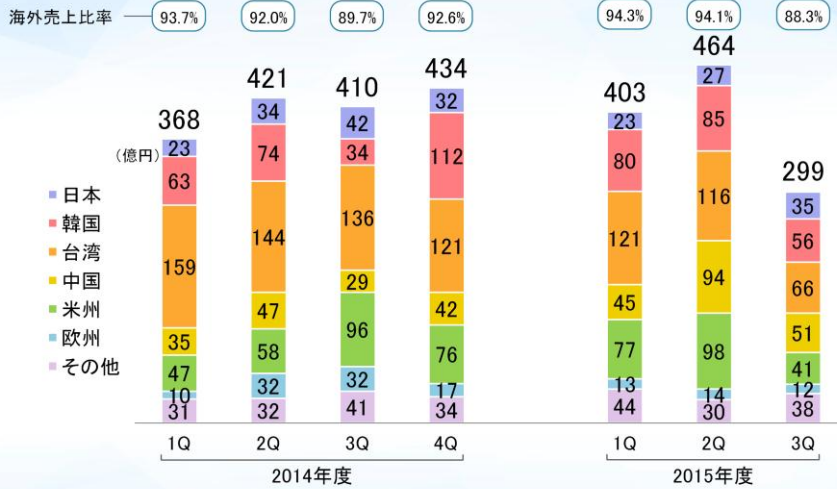
2016/1/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

- 2015年度第3四半期の事業セグメント別売上高
- 半導体・部品テストシステム事業
  - ・ 前期比 31%減 182億円
    - うち非メモリ・テスタ 137億円
    - メモリ・テスタ 45億円
  - ・ 2Qの低水準な受注状況を反映し、非メモリ・テスタもメモリ・テスタも落ち込む
- メカトロニクス関連事業
  - ・ 前期比 60%減 46億円
  - ・ デバイス・インタフェース事業がメモリ・テスタ市場伸び悩みの影響を受けた
  - ・ 受注同様、商談の進捗状況から、ナノテクノロジー事業も上期ほどの数字を残せず
- サービス他事業
  - ・ 前期比 15%減 72億円
  - ・ SSDテスタが一服

# 売上高 地域(出荷先)別



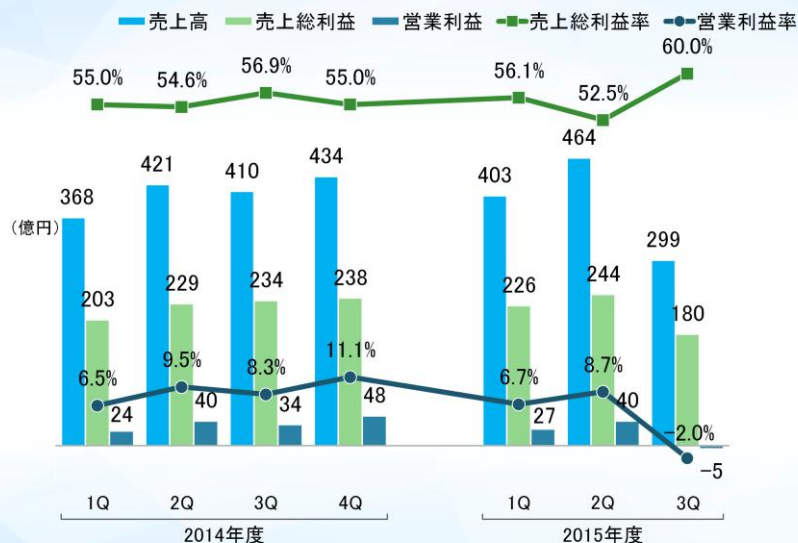
**ADVANTEST.**

## ○ 2015年度第3四半期の地域別売上高

- 米州  
ナノテクノロジー事業や非メモリ・テストが落ち込んだ
- 台湾  
ディスプレイドライバIC向けのテスト販売一巡など
- 中国  
メモリ・テストとデバイス・インタフェース事業の売上が減少
- 韓国  
メモリ・テスト売上が減少
- これらの結果、海外売上比率 88.3%



## 売上高/売上総利益/営業利益



**ADVANTEST.**

2016/1/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

9

### ○ 2015年度第3四半期の営業損益

- 売上総利益 前期比 63億円減 180億円  
売上高の減少に伴い売上総利益も減少
- 売上総利益率 前期比7.5ポイント改善 60.0%  
採算性の良い非メモリ・テストの売上構成比が上昇
- 営業費用 前期比17億円減 185億円  
損益水準に沿った賞与引当金の減少など
- 営業損失 5億円
- 営業利益率 -2.0%

# 研究開発費/設備投資/減価償却費



**ADVANTEST.**

## ○ 2015年度第3四半期の研究開発費等

- 研究開発費 74億円
- 設備投資 9億円
- 減価償却費 13億円

# バランス・シート

(株主資本)	1,428	1,409	1,437	1,423
(株主資本比率)	53.9%	51.6%	55.3%	56.5%



**ADVANTEST.**

○ 2015年12月末時点のバランス・シート

○ 資産の部

- ・ 現金預金  
前期末比 56億円減 809億円
- ・ 総資産  
前期末比 78億円減 2,520億円

○ 負債・資本の部

- ・ 株主資本 1,423億円
- ・ 株主資本比率 前期末比 1.2ポイント増 56.5%

# 2015年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 黒江 真一郎

# 2015年度業績予想

(億円)

4Q予想為替前提: 1米ドル=120円、1ユーロ=130円

参考:  
10月時点予想  
1米ドル=120円  
1ユーロ=135円

	14年度 実績	15年度 1Q実績	15年度 2Q実績	15年度 上期実績	15年度 3Q実績	15年度 4Q予想	15年度 下期予想	15年度 通期予想	通期予想 前年度比	15年度 通期予想
受注高	1,763	440	271	711	398	391	789	1,500	-14.9%	1,500
受注残	450	487	294	294	392	350	350	350	-22.2%	350
売上高	1,633	403	464	867	299	434	733	1,600	-2.0%	1,600
営業利益	146	27	40	67	-5	43	38	105	-28.2%	100
営業利益率	9.0%	6.7%	8.7%	7.8%	-2.0%	10.0%	5.1%	6.6%	-2.4pts	6.3%
税引前当期純利益	189	28	35	63	2	43	45	108	-42.7%	95
当期純利益	129	19	25	44	-8	31	23	67	-48.3%	67
当期純利益率	7.9%	4.7%	5.5%	5.1%	-2.7%	7.1%	3.1%	4.2%	-3.7pts	4.2%

- ✓ 受注高、売上高は10月末時点の予想を据え置く
- ✓ 製品ミックス良化を受け、営業利益予想と税引前当期純利益予想を修正
- ✓ 海外子会社の税金費用増加等を織り込み、当期純利益は変更なし

**ADVANTEST.**

2016/1/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

13

## ○ 2015年度の業績予想について

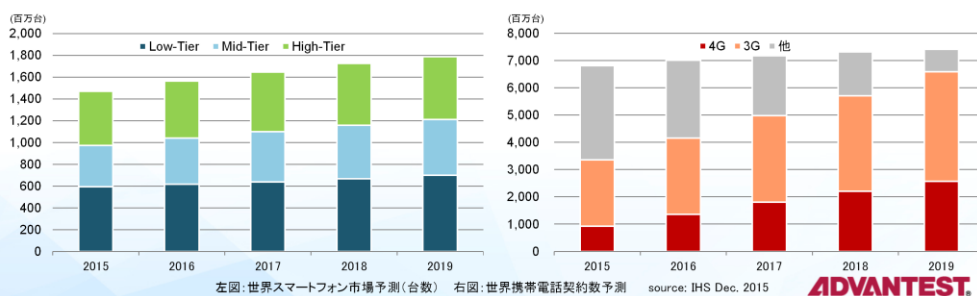
- 下期の業績予想は概ね10月末時点の見方に沿った数字を見込む
- 3Q実績と足元の顧客動向を踏まえ、受注高、売上高は10月末時点の予想を据え置く
- 下期の製品ミックスが想定よりも良化傾向にあるため、営業利益予想と税引前当期純利益予想を修正
- 海外子会社の税金費用増加等を織り込み、当期純利益予想は変更なし
- 4Q予想は
  - 受注高 391億円
  - 売上高 434億円
  - 営業利益 43億円
  - 当期純利益 31億円
- 通期予想は
  - 受注高 1,500億円
  - 売上高 1,600億円
  - 営業利益 105億円
  - 当期純利益 67億円
- 3Q受注が伸びた背景は中国スマートフォン市場の活発化。中国経済、世界経済の先行きは不透明であり、4Q受注は楽観していない
- 3Qの売上高は2Qの受注の数字を受けて、底となった。利益も低調。下期の利益予想は受注残の増加を受けて、目標達成可能と考える

# 今後の各事業のポイント

## ■ 半導体・部品テストシステム

### 非メモリ・テスト

- ✓ 顧客の稼働率上昇を受け、テスト受注環境は2Qを底に復調
- ✓ より高速なモバイル通信網の拡大、ローエンド/ミッドレンジ・スマートフォンの台数成長と性能向上が当社テスト需要を喚起
- ✓ 15年はPMIC、MCU、車載IC、センサ向けで当社テストの採用進展引き続き幅広い領域で顧客拡大を図る



2016/1/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

14

## ○ 非メモリ・テスト事業の今後のポイント

- 非メモリ・テスト市場では、10月から徐々にテストの稼働率が上向きに転じ、受注環境は2Qを底にして復調しつつある
- 世界的にはローエンド・スマートフォンやミッドレンジのスマートフォンの普及は途上である。かつ、成長率は鈍化しているハイエンド・スマートフォンについても、先端プロセスを採用したロジックICの生産量増加が見込まれる
- 今後の安定経営のためにはスマートフォン以外の市場でのビジネスを拡大することも重要。2015年は、PMIC、MCU、車載IC、センサ向けで、新規顧客獲得とシェア拡大に成功
- 今後も幅広い領域で顧客拡大を図る

# 今後の各事業のポイント

## ■ 半導体・部品テストシステム

### メモリ・テスト

- ✓ 高速DRAMテスト導入促進に繋がるLPDDR4へのシフトが加速
- ✓ 3D NANDの量産拡大に伴うNANDフラッシュ用テスト需要の伸びを2016年は見込む
- ✓ NANDの高速I/F品には新規テストが必要  
特にシステムレベル・テスト向けのテスト需要拡大に期待



システムレベル・テスト用  
メモリ・テスト・システム「T5851」

**ADVANTEST.**

## ○ メモリ・テスト事業の今後のポイント

- メモリ・テスト事業の3Qの受注・売上は当初の期待に達しなかったが、  
今後はミッドレンジ以上のスマートフォン関連の投資が進むと見ている
- そのなかで、DRAMではLPDDR4が、NANDフラッシュでは  
大容量の3D NANDや、高速インターフェースを使うNANDが主流になっていく  
それぞれ、量産拡大に期待
- UFSやPCIeなど高速インターフェース搭載のスマートフォン用のNANDフラッシュには  
SSDテストと同様に、プロトコル対応したシステムレベル・テストが必要になり、  
新たなテスト環境の市場が形成されることになる



# 今後の各事業のポイント

## ■ メカトロニクス関連

- ✓ デバイス・インタフェース: 非メモリ・テスト向けのビジネス拡大を進め、テスト市場の変動に左右されない事業基盤を確立
- ✓ ナノテクノロジー: フォトマスク向け市場のシェアを維持しつつ引き続き非半導体の幅広い領域で市場開拓に取り組む

## ■ サービス他

- ✓ サービス: 顧客の生産性向上に貢献する総合サービス提案を拡充し、売上拡大を目指す
- ✓ SSDテスト: SSD市場の台数成長に加え、従来の計測環境では対応が難しい高規格インタフェースが徐々に普及  
当社SSDテストの需要拡大に期待

**ADVANTEST.**

## ○ メカトロニクス関連、サービス他事業の今後のポイント

- デバイス・インタフェースは、現状メモリ・テスト市場との連動性が強い。  
非メモリ・テスト向けのビジネス拡大を進めたい
- ナノテクノロジーは、当社のEB技術への関心が高まっているなかで、  
フォトマスクなどの半導体関連用途だけでなく、非半導体領域への展開を  
進めたい
- サービス他部門の中核はフィールド・サービス事業。  
ここ数年、保守契約の拡大を基点に収益を持続的に伸ばしているが  
保守サービスにとどまらず、総合提案という観点から顧客の生産性向上に  
寄与できるアプローチを強化し、今後の売上拡大に繋げたい
- SSDテストは、現在、新規事業で最も成長している事業。  
NANDフラッシュ向けのテストでも触れたが、フラッシュ・ストレージに対する  
性能試験と信頼性保証のニーズが広がっている。  
なかでも、サーバーに使われるエンタープライズSSDのテストについては  
高速プロトコル試験への対応を要求されている。  
リピート需要/新規顧客獲得活動など市場深耕を徹底し、市場拡大に備える



## まとめ

- ✓ 3Q実績と足元の顧客動向を踏まえ、下期の業績は概ね10月末時点の見方に沿った数字を見込む
- ✓ 15年はPMIC、MCU、車載用IC、センサ向けなどで当社テストの採用進展。非メモリ・テスト事業の収益向上に向け、さらなる顧客ベース拡大を図る
- ✓ メモリ・テスト事業はDRAM後工程向け、高速I/FのNAND需要の伸びを期待
- ✓ メカトロニクス関連、サービス他事業の育成も手を緩めず努める

**ADVANTEST.**

### ○ 本日のまとめ

- 3Q実績と足元の顧客動向を踏まえ、下期の業績は概ね10月末時点の見方に沿った数字を見込む
- 15年は、MCU、車載用ICなどの領域で、当社の市場シェアを拡大できた。収益向上に向けさらなる顧客ベースの拡大を図る
- メモリ・テストではDRAM後工程向け需要の伸び、高速I/FのNAND需要の伸びを着実に捉える
- メカトロニクス関連事業、サービス他部門内の新規事業の育成は重要な課題のひとつ。  
半導体テスト市場が低調な局面でも売上、利益を伸ばせるよう今後も事業の強化に努める